

# 学校だより

【学校教育目標】「考え つながり 学び続ける子」

弘道小学校ブログ<http://koudoues.blog.fc2.com>

令和5年6月1日

週1~2回更新中。  
ぜひご覧下さい。



文責 内海忠裕

## いのちと人権を学んだ修学旅行

5月25日（木）～26日（金）に広島方面に修学旅行に行きました。ねらいは3つ。「戦争の悲惨さを通して、命と人権を学ぶ」「仲間と協働しながら、良い旅行になるように考え、行動する」「事前・事後の学習をとおして、やり抜く力・自制心・協働性など非認知能力を高める」こうした目的を意識しながら、一連の学習に取り組みました。

印象的だったことが3つありました。

### 1 「いのちと人権を学ぶ」

被爆体験記朗読会では、原爆投下直後の悲惨な様子を学びました。また、被爆された方が書き記した詩を読んでいただきました。被爆者の立場で思いを考え、事実を知った自分は、どう感じたか考えを創る機会になりました。



朗読から事実を学ぶ

### 2 「自分ごととして考える」

平和記念資料館では、原爆による被害の状況から、人々がどんな思いや願いを持っていたか、展示物から感じ取りました。事実から目を背けず、真剣に学ぶ姿が印象的でした。翌朝のセレモニーでは、平和への誓いを述べ、千羽鶴を捧げました。自分と向き合い「自分はどうか生きるか」を真剣に考えました。自分と他者の2つの立場で考え抜きました。



被爆者の願いを学ぶ

### 3 「非認知能力を高める」

2日間様々な場面で自制心を働かせ、仲間と協働してよい旅行にできました。互いに注意し合う声、それを素直に聞き入れる態度、仲間を心配し支える声が、わずか2日間の間にも増えてきたことは立派でした。

自分の欲求や気持ちをうまくコントロールしながら、今後の学校生活もより高まるよう、楽しみにしています。



自分も仲間も心地よく

★ いのちと人権が守られる平和な社会を創る人間として、よい学びの機会となりました。これからの学校や地域の身近な生活で、学んだことがいかされ、いのちと人権をさらに大切にする態度が育っていくことを期待しています。

## 学校運営協議会（コミュニティスクール）

4年目となる学校運営協議会では学校経営方針が承認され、めざす子ども像を共有しました。各委員からは建設的なご意見が出されました。

○子どもを守る安全ボランティアの募集・確認について手紙を出す時期である。

○子ども110番の家の確認を進めていく。

○SNSの情報モラル指導を、子どもにも、保護者にも進めていく必要がある。

○めざす子ども像「つながる 広がる 出石大好きっ子」を共有目標として承認。

学校運営協議会委員の皆様（敬称略）

□小松和巳（地域コーディネーター）

□棚橋幸作（弘道地区子供育成協議会会長）

□上坂泰三（弘道小PTA会長）

□石野義明（民生委員）

□山西康之（弘道小校友会会長）

□河合真紀子（弘道小PTA副会長）

□片山正之（弘道コミュニティ協議会会長）

□中西登志子（CSディレクター）

□天野良昭（弘道地区区長協議会代表）

□内海忠裕（弘道小校長）

## 弘道小創立150周年記念事業第1回実行委員会

引き続き、弘道小学校創立150周年記念事業実行委員会が開かれました。昨年度から準備委員会が立ちあげられ、今年度は学校運営協議会を実行委員会として事業推進にあたっていただきます。

150周年記念事業を行う目的は以下のとおりです。

### 【目的】

豊岡市立弘道小学校創立150周年記念事業は、豊岡市立弘道小学校（以下弘道小学校という）創立150周年を記念して、伝統を築いてこられた卒業生、教職員、地域の方々に感謝するとともに、次代を担う子どもたちの育成に寄与する教育環境の充実を図る事業を行うことを目的とする。

事業内容としては以下のことが確認されました。今後詳細について部会で協議が行われます。

◆弘道小学校創立150周年記念式典（11/18 土 PM・記念式典部会）

◆弘道小学校創立150周年記念イベント（11/7 火 PM・記念イベント部会）

◆寄付金の取組（寄付金・教育環境整備部会）

教育環境の整備とは、主に学校図書館の整備（図書購入）です。また、子どもたちが150周年を機に弘道小学校への愛着を高め、思い出に残るイベントも行われます。寄付金はそれらの事業にあてられます。

後日、150周年記念事業募金趣意書が地域の皆様に届きます。趣旨をご理解いただき、なにとぞご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

### 【心肺蘇生法講習会～教員研修～】

5/17に出石消防署から講師をお招きし、心肺蘇生法講習会を開催しました。子どもが心肺停止になったときに、素早く対応が行えるように毎年講習を受けています。

個々の教員だけでなく、チームで連携した演習も行いました。水泳の時だけでなく、万が一の時に備えています。



↑ AEDも活用してチームで対応